

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成25年11月14日 (2013.11.14)

【公開番号】特開2012-105438(P2012-105438A)

【公開日】平成24年5月31日 (2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2012-021

【出願番号】特願2010-251129(P2010-251129)

【国際特許分類】

B 6 0 L 15/40 (2006.01)

【F I】

B 6 0 L 15/40 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月2日 (2013.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

列車の位置を検出する位置情報検出手段と、

指定された制限速度情報に基づいて第 1 の制御指令を出力し、前記位置情報検出手段によって検出された列車の位置が所定の範囲内にあるときは、前記第 1 の制御指令に代えて列車の特性を得るために予め設定された第 2 の制御指令を出力する制御指令出力手段とを備えたことを特徴とする列車制御装置。

【請求項 2】

前記所定の範囲を示す範囲データを記憶する記憶手段を更に備え、前記制御指令出力手段は前記位置情報検出によって検出された列車の位置と前記記憶手段に記憶されている範囲データとを比較することで所定の範囲内か否かを判定することを特徴とする請求項 1 に記載の列車制御装置。

【請求項 3】

前記第 2 の制御指令は、所定のノッチパターンであることを特徴とする請求項 1 に記載の列車制御装置。

【請求項 4】

列車の位置を検出し、

指令された制限速度情報に基づいて第 1 の制御指令を出力し、

前記検出した列車の位置が所定の範囲内にあるときは、前記第 1 の制御指令に代えて列車の特性を得るためにあらかじめ設定された第 2 の制御指令を出力することを特徴とする列車制御方法。

【請求項 5】

列車の位置が所定の範囲内にあるか否かは、前記検出された列車の位置と記憶手段に記憶されている前記所定の範囲を示す範囲データとを比較することによって判定されることを特徴とする請求項 4 に記載の列車制御方法。

【請求項 6】

前記第 2 の制御指令は、所定のノッチパターンであることを特徴とする請求項 4 に記載の列車制御方法。